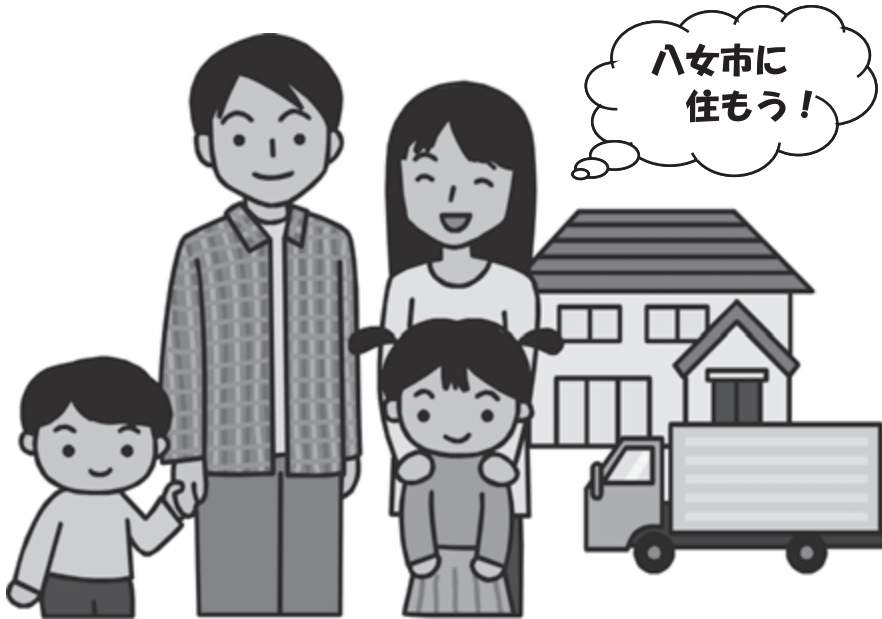


# 平成29年度の新規事業



## 若年世帯家賃等支援 補助事業 1940万円



若い世代の定住を促進するため、市内に転居する若年層世帯に対し、家賃や引っ越し費用を補助します。

### 人口減少の歯止めを期待

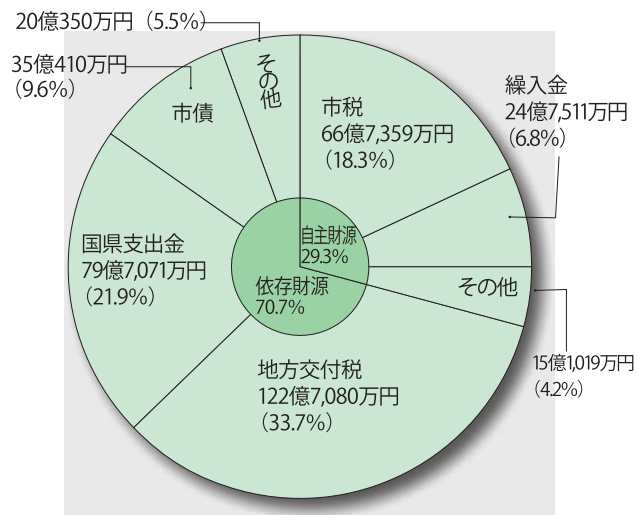
3月定例会は3月1日から3月23日までの23日間の会期で開催しました。  
市長より提案された議案は、総額364億800万円の平成29年度一般会計当初予算案や条例改正案など49件で、いずれも原案どおり可決されました。また、最終日には委員会及び議員から議案が提出され、議員の定数については活発な審議をしました。  
予算は予算審査特別委員会を設置して審査しました。

## 見据えた一般会計予算を可決

### 364億800万円です

#### ▼平成29年度特別会計予算

特別会計名	歳入歳出予算額
国民健康保険事業費	113億7,258万円
簡易水道事業費	5億1,139万円
住宅新築資金等貸付事業費	205万円
下水道事業	12億7,713万円
介護保険事業費	76億7,362万円
後期高齢者医療	10億4,240万円
農業集落排水事業	7,634万円
矢部診療所	7,401万円
黒木町串毛財産区	334万円
黒木町木屋財産区	811万円
黒木町大淵財産区	2,023万円
水道事業	10億2,079万円



### 歳入の内訳

## 集落支援員設置事業 394万円



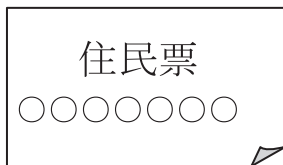
集落の実態や課題等を把握するとともに、それらを整理・活用する集落支援員を設置し、地域住民が取り組む地域づくりを支援します。

## 在宅支援住宅改修補助事業 200万円



要介護認定を受けていない虚弱な高齢者に対して、日常生活における転倒等による負傷等の介護リスクを軽減し、介護状態となることを未然に防止するための住宅改修補助事業を実施します。

## 住民票等のコンビニ 交付事業 3082万円



市民の利便性を高めるため、個人番号カードを使って住民票や印鑑証明等をコンビニエンスストアの情報端末から発行できるシステムを構築します。

## 北山保育所改築事業 1062万円



昭和53年建築で老朽化が進み、耐震性に不安を抱えた当保育所を改築し、安心・安全な環境を整え地域の保育ニーズにこたえる。平成29年度実施設計、平成30年度施工予定です。

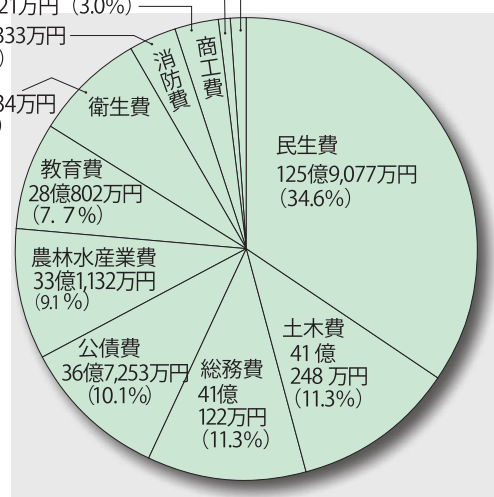
# 『定住』『子育て』『高齢化』の支援を

## 平成29年度 一般会計予算は

歳出を性質別にみると…

扶助費	69億1,240万円 (19.0%)
補助費等	56億3,099万円 (15.5%)
普通建設事業費	52億4,267万円 (14.4%)
人件費	49億8,248万円 (13.7%)
物件費	46億1,109万円 (12.7%)
繰出金	41億7,297万円 (11.4%)
公債費	36億7,253万円 (10.1%)
その他	11億8,287万円 (3.2%)

災害復旧費 3億5,763万円 (1.0%)  
10億9,321万円 (3.0%)  
12億4,333万円 (3.4%)  
27億5,834万円 (7.6%)  
衛生費  
教育費 28億802万円 (7.7%)  
農林水産業費 33億1,132万円 (9.1%)  
公債費 36億7,253万円 (10.1%)  
総務費 41億122万円 (11.3%)  
土木費 41億248万円 (11.3%)  
民生費 125億9,077万円 (34.6%)  
その他 3億6,915万円 (0.9%)



歳出の内訳

# 議案審議

## 限られた予算

## 有効に 適正に

平成29年度八女市一般会計予算  
について

### 集落支援員設置事業の内容は

**問** 非常にいい制度であると思う。今回はひとりを黒木町笠原地区に設置することになっている。選定の理由は。

**答** 北部豪雨災害後、地域が課題を抱えている中で、地域からの強い要望もあり、まず、笠原に設置させていただき、十分効果があるということであれば他の地域にも導入を検討する方向である。先行させ

て1か所だけ設置するということ考へてある。

**問** 今後の事業の進め方は。

**答** 地域ごとに課題が違う。それぞれの地域のニーズにあった人材を地域から推薦していただくなど、しっかりと検討していく。

### 定住対策事業の内容を問う

**問** マイホーム取得支援事業補助金の内容は。

**答** 新築取得補助と中古住宅取得補助がある。

市内に新築等した方に対し、取得する家屋の固定資産税相当額を3年間補助する。転入、新婚、子育て世帯には一時金を加算する。

また、市内に中古住宅を購入した方に対しては、購入経費の5%を補助する。上限は10万円。転入、新婚、子育て世帯には一



時金を加算する。

**問** 転入者と、もともと八女市に居住している者との差は。

**答** 固定資産税相当額の補助は同じ。転入の場合、20万円の加算がある。中古住宅の加算額も同様である。

### 民生委員児童委員の活動費について

**問** 民生委員児童委員活動費はどのようになっているのか。

**答** 国からは法律に基づいて給与は一切支給されない。活動に係る経費は負担されている。費用を弁償するという意味で県と市から報償費ということで支払っている。八女市では、一人の年額は5万99900円を予算計上している。

**問** 民生委員児童委員の報償の負担は国はない。市長会などを通して、要望されたのか。

**答** 福岡県市長会総会の中で、民生委員児童委員の待遇の改善について、職務相当の報酬の支給と活動費の大幅な増額を行うことを国へ要請している。

### 八女市奨学金給付人数を倍増

拡充！

#### 八女市奨学金給付人数

平成28年度	給付人数23名
	↓ 倍増
平成29年度	給付人数50名

**問** 非常に良い制度をつくっていただいている。給付人数23人を50人と倍以上にした経過は。

**答** 子育て支援に関わる目玉事業をつくった。申し込みが例年50人前後あつていた。

### 旧北川内小学校校舎等解体工事

**問** 予算計上までの経緯は。

**答** 平成27年にアンケートが実施された。アンケート結果を基に地元で検討された結果、解体して利活用するという方針が決定され、市へ要望が出された。これを受け、施設が老朽化していること、防犯上の観点から解体することが適当であるということにより、

**問** 跡地活用の予定は。

**答** アンケートの結果では多目的広場、駐車場が多かった。地域住民の意見を十分に検討して跡地利用にあたる。

**問** 現段階では決定していないのか。

**答** 明確には決まっていない。

予算計上している。



# 黒木町のふれあい施設ほか

## 用途廃止へ

八女市黒木ふれあい施設  
条例の一部を改正する条  
例の制定について

### 【提案理由】

剣持ふれあいセンター、平野ふれあいセンター、枝折ふれあいセンター及び田代地区多目的交流センターについて、公有財産利活用検討委員会において見直しの方針が提起された。地元地縁団体等と協議した結果、枝折ふれあいセンターについては廃止、他の施設については地元は無償譲渡することに合意したため必要な改正を行うもの。

**問** 今回の改正では、施設の用途廃止が盛り込まれている。市は何をもって用途廃止するのか。

**答** 合併後、非常に多くの類似施設をかかえ、公共施設の見直しについて議

設けていない。今後検討する。

**問** 地元への説明は、廃止ありきではなかったか。

**答** 無償譲渡で受けていただくならば、施設の改修はどのくらい必要かなど協議し、譲渡するまでに予算化し、改修をしている。議論をし、理解をいただきたという中で、今回廃止を要する、又は地元は無償譲渡をしていくということと、整理し提案した。地元と議論をし、話がつかないところについては、指定管理施設として2年間の延長を行った。市では、公共施設等総合管理計画を策定している。今後引き継ぎ八女市に合った公共施設の適正配置を考えていかなければならない。

**問** 財政の合理化、効率化のみで用途廃止の方針が結論づけられていないか。用途廃止については、一定基準に基づき、結論を導き出すべきだ。要綱などはあるのか。

**答** 用途廃止の基準は、

譲渡の場合、設備改修の条件を出されたと思うが、お願いはなかったのか。その中で浄化槽の改修要望はなかったか。

**答** カーターンの取りかえなど、いろんな要望が出ていますが、浄化槽の改修要望は聞いていない。

## 反対討論

**問** 何らかの救済をしなければ施設を将来にわたり維持することが困難である。管理運営費の補助制度などは考えられないか。

**答** 現在はそのような考えはない。公有財産利活用検討委員会で議論はしているから反対する。

**問** 地元の切実な思いを受けて、議案の撤回、訂正の考えはないか。

**答** 将来の八女市のことを考え、また多種多様な課題が山積する中で、これからも非常に大きな財源が必要な新しい事業もある。そのような中で行政を進めていきたいと思う。ご理解をいただきたい。



枝折ふれあいセンター

# 高齢者交通安全講習会を実施

**問** 講習会の委託先と内容、高齢者に向けた対策費以外にあれば説明を。

**答** 講習会に関しては、専門的な知識が必要であることから委託先は市内の自動車学校を考えている。委託費の内訳は、一人当たり一回7千円強の講習費を見込んでいる。48人分の委託料を予算計

上している。全体では、高齢者に限らず交通安全の事業として、交通安全協会の負担金が大きなものである。



## 反対討論

**【提案理由】**  
公有財産利活用検討委員会において、見直しの方針が提起されたため、関係者と協議を重ねてきた。辺春ふれあいセンター及び矢部荒茶加工施設については、指定管理者である地元団体へ無償譲渡し、それ以外の施設については廃止とするため、各施設の条例を廃止するもの。

辺春地区は、中学校と小学校が廃校し、平成30年には農協の支所まで廃止の予定である。辺春ふれあいセンターを廃止するどころか何らかの対策を取るべきである。